

2025 年度 健康投資推進協議会
第 2 回 HSD ワーキンググループ議事録

株式会社ヤマヲ 菅原恭子

開催日：令和 7 年 7 月 11 日
開催時間：10 時 00 分～11 時 00 分
開催場所：WEB 会議

I.開会：事務局 司会：豊田代表

II.出席者の確認：事務局

今回からご参加の鈴木様からのご挨拶（広報、HP 関連を支えていただきます。よろしく
お願いいたします。SDGS マネジメントの方でもご協力いただいております。）

III.座長挨拶：古井 祐司 先生

いよいよ今日は具体的にどんな地域でどんな取り組みをしていくかの協議になります。
具体的なお意見をよろしくお願いいたします。

IV.協議事項

1) 2025 年度 健康投資推進協議会 方向性・事業について

■ **ミッション (Mission)** 「組織が将来的に果たすべき使命や存在意義」

社会・経済および雇用の課題に対して、健康増進と企業経営の統合的發展を通じて、日本と世界に貢献する。

■ **ビジョン (Vision)** 「組織がミッションを達成するための中長期的な目標」

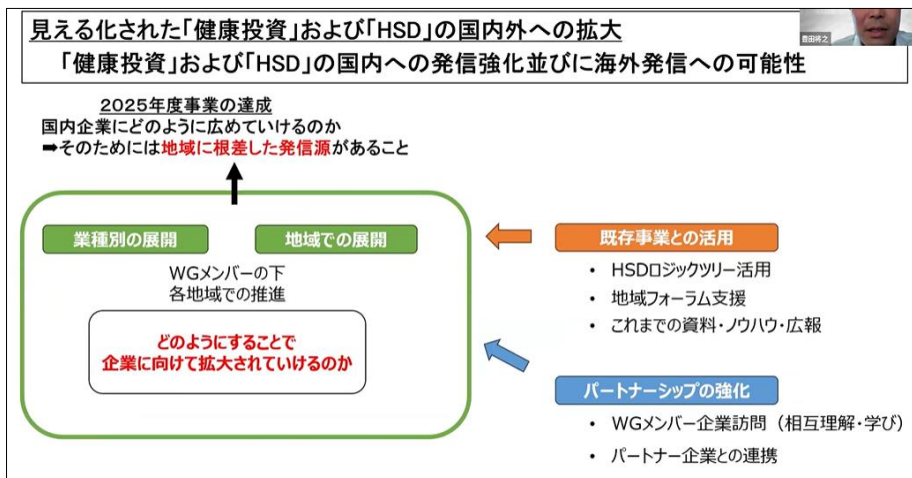
見える化された「健康投資」を通じて、社員が活き活きと働く中小企業を日本全国に創出し、地域社会の幸せを創造する。

■ **バリュー (Value)** 「メンバーが日々発揮するべき価値」

1. 「健康投資」を中心とした人的資本経営による、中小企業の企業価値向上
2. 持続可能な長寿社会における、中小企業の「健康投資」ベストプラクティスとエビデンスの提供
3. 経営者と健康投資担当者の内部コミュニケーションによる、風土改善環境エビデンスの提供
4. 産官学連携での見える化された「健康投資」による、中小企業のロールモデル創造
5. 日本のロールモデルを海外に発信することによる、中小企業の国際競争力向上

—当協議会では、健康増進と経営の統合が大きなテーマとなっています。

去年は Well-being フォーラムを行い、結びつきを作ったが、4 年目の今年は、地域に根差していくための展開方法（業種別、SDGs と絡めるなど）を考える。地域から継続的にどうやって発信し、広めたらよいか考えましょう。



- 令和7年度 健康投資推進協議会
- 見える化された「健康投資」および「HSD」の国内外への拡大
「健康投資」および「HSD」の国内への発信強化並びに海外発信への可能性
- ～社会課題に向け、企業が健康投資と経営の統合できる地域の強化に向けて～
- ① HSDロジックツリー活用 WG企業
 - ② 地域事業の拡大に向けて
 - ③ 健康投資の可能性を探る
 - ④ パートナーシップ
 - ⑤ 広報戦略

【地域戦略計画 進捗報告】

（１） 福島県

健康投資推進協議会 地域戦略事業：福島県①

鷺尾さんの活動紹介：

令和7年度 会津地方・地域職域連携協議会

・ 鷺尾様は事例を紹介いただいたゲストスピーカー

→ロジックツリー説明いただいた

Well beingフォーラムの情報発信

健康投資推進協議会 地域戦略事業:福島県②

7月4日(金) 臨時コア会議 報告

①「福島モデルの今年度の推進計画の検討」

参加者: 鷺尾様、古井座長、村松先生、高野先生、岡部様、神田様、豊田

・目的/スキーム/スケジュールを検討 ➡ WG協議

8月1日(金) 定例コア会議 予定

②「健康投資推進協議会・アクサ生命のパートナーシップに関する検討」

参加予定者

協議会: 鷺尾様、コア会議メンバー

アクサ生命: HPM事業開発部(村松先生ご調整)

・今年度の事業計画に関する協議会からの提案

・2者間の目的/スキーム(役割分担)/スケジュールを調整

一地域の進捗状況を報告します。まず福島から。7月4日、鷺尾様を含め、臨時のコア会議をおこなった。8月1日にまた次のパートナーシップに向けてコア会議を行う予定。では鷺尾様よりご説明をお願いします。

<ワシオ商会 鷺尾様>

7月に福島県の会津地方で、会津地方全域の保健者が集まる「地域職域連携協議会」があり、ゲストとして招かれ、健康経営の事例ということで現行弊社の取り組みの報告、その中で、ロジックツリーの紹介も行った。会津地方だけでなく、福島県ひいては東北全体に展開するためにまず、フォーラムの開催を実現したいと思い、村松先生のご協力の元、県内にあるアクサ生命さんとやり取りをしている。

会津地方は交通の便があまり良くない人口も多くないため、郡山市または福島市を候補に考えており、アクサ生命の東北・北海道営業副局長様が、それぞれの商工会議所に打診をしてくれているところ。

一現在はコアメンバー中心で、どう進めていくか、協力関係者の調整を行っているが、去年は福島(東北)ではフォーラムを行っていない中でどう機運を高めていくか、協議会全体で考えていきましょう。のち程みなさんのご意見ををお願いします。次に岐阜県の進捗を報告します。

【地域戦略計画 進捗報告】

(2) 岐阜県

健康投資推進協議会 地域戦略事業:岐阜県

6月24日(火) 岐阜県未来創成局 局長面談

[働いてもらい方改革](#) [三承工業の取組](#)

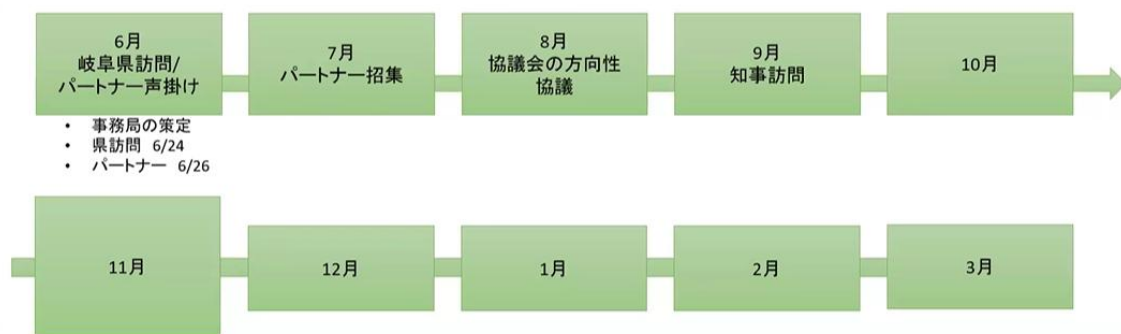
6月26日(木) 岐阜商工会議所・岐阜県中小企業団体中央会

一社)東海木造住宅協会 3団体への話題提供

7月7日(月) 岐阜県中小企業団体中央会 訪問・専務理事含め4名面談

7月30日(水) 岐阜県 商工労働部・健康福祉部 訪問予定

⇒今後、全国健康保険協会岐阜支部、および岐阜県経営者協会 訪問予定



—6月24日に岐阜県・未来創生局の局長との面談を行った。三承工業の西岡社長と神田さんにも参加いただき、情報を得た。岐阜では知事が変わり、今年から新規事業三本柱を立ち上げた。その中に健康投資を取り入れ、長く働いてもらうための「働いてもらい方改革」という取り組みを行っている。西岡社長より三承工業岐阜県内10社の取り組みを報告した。県の方も「情報発信していきたい。人口減の中でどうしたら労働力の確保ができるか」と考えており、単純に健康経営だけでなく、いろいろな角度で、例えば女性活躍と一緒にすすめるなどの長く働いてもらうための健康投資を進めていきたいと話し合った。

7月26日、7月7日には岐阜商工会議所や、岐阜県中小企業団体中央会と面談し、

7月30日は関連する岐阜県の他の部署への訪問を予定。

—福島・岐阜での現在の動きは以上の通り。

では、下に地域戦略事業に関連する現在の課題をまとめましたので、今後どう深めていくか皆様にもご意見をお願いします。

健康投資推進協議会 地域戦略事業

1. 趣旨目的の整理・作成

その地域の核となるリーダーが描く地域への想い × 行政の想い

2. 関係者との交流・関係者に対する説明

私達の活動に賛同いただける協力者との交流

3. テーマ や 話題の選定

4. イベント等 開催スケジュール

5. 広報(集客)

6. 当日の動き

7. 評価

<ヤマヲ 岡部社長>

去年の Well-being フォーラム、毎年のシンポジウムを通し、今年は4年目を迎えるにあたり広がりが出てきている。フォーラムで新発田の商工鍵所の話聞いて、立川の商工会議所でもやりたいという声上がり、こちらは個別で進めている。メンバーの皆様は当然自分の会社を良くしたいという思いで参画いただいているが、今それぞれの地域で人口がどんどん減っていく中で、地域自体をより良くしなければ、自社の存続もあり得ない世の中になっていく。福島の事例のように県や地方全体に展開するにあたり当協議会がどういう役割を持って進めていくのかという局面にきている。

福島については古井先生や村松先生にも関わりをいただき、地域選定、フォーラム等の開催、地域連携、健康投資を広めていくようコア会議で話し合っている。また岐阜は去年からスタートし計画的に進んでいるので豊田代表を中心にさらに進めていく。熊本八代の和田さんなどもしっかり。ただ各社進み具合が違うので、状況に合わせて皆で話をしながら選定地域を決めてきたい。

一事前にコア会議があった中で全体としての戦略、目線についてのお話をいただきました。続いて地域に踏み込んだところで、協議会の事業としてのご説明をお願いします。

<古井先生>

今までに話がありました通り、人口が減っていく、地域の繋がりが弱くなっていく世の中で、皆さんが地元の中小企業として日々どういう活動をしているか。企業が生き残るには地域が強くなければ。折り合いをつけていくことが大事。

先ほどの資料（健康投資推進協議会地域戦略事業）の 1番が非常に大事。

「私たち（地域の核となるリーダー）の想い×行政の想い」

地域によって状況に違いはあるが、当協議会は国や自治体の委員会ではなく皆さんが主体の会なので、皆さんが中小企業のリーダーとしてどういう事業展開をするか健康投資がどういう意味を持つかについて、自社だけでなく同じ地域の他の企業や行政に浸透させながら地域創成を図っていくことが重要。この3年半のみなさんの想いをなるべく明確にし、行政だけでなくいろいろなステークホルダーと想いを共有し重要性を理解してもらい全体で頑張っていくことが大事。それが 2 番 3 番 4 番につながっていく、あえて明文化することを大事にやっていけばよいと思う。

福島岐阜を含め、自分としても何ができるかを考えたい。

—それぞれの地域のカラーが出てくる。私も情報を拾いながら明文化を意識していきたいので、皆様からのヒント、お力を。最後の評価のところまで皆様のご意見をよろしく願います。高野先生いかがでしょうか。

<高野先生>

私も古井先生がおっしゃったように「地域の想い×行政の想い」がすごく重要だと思う。岐阜と福島だけでも進め方の違いがあると感じている。当協議会の良いところは全国の皆さんが集まっているのが強み。それぞれの具体的なご意見をいただきながら進めたい。自分に何ができるか模索しているのでヒントをいただけたらと思う。

—全国に支店を持つ企業目線で、リコー様に地域ごとの差を考えた進め方についてのご意見を。

<リコージャパン 高木様>

47 都道府県に支社があり、いろいろな自治体の健康経営だったり女性活躍などで、企画があるので、各地域担当がやりたいと言えば私たち（本社）がデーターを提供したり、バックアップしている。主体となって動くのは地域の担当者で、いろいろやり方があり継続が難しいため、モデルケース成功事例が共有できた方がよい。結局、地道に根気よくやるのが良いかなと思う。協議会で私たちにできることがあればこれからも協力をさせていただきたい。

<リコージャパン 佐藤様>

その通りで、地域主体でやってもらい、そのバックアップするのが本社の役割。思うようにはいかないのが現状。地域でやっていくならば接点を持てた方の真意をくみ、丁寧な支援をすることで口コミをしていただくなど地味にやっていくこと。地域で健康づくりを自由に企画してよいという取り組みをしている。せっかくやろうとしても複雑だったらエネルギーが落ちてしまうので手続きを簡単にできるようにすることも工夫をしている。

リコーHPの中に「リコージャパンの働き方改革に関する（地域）」というのがある。そこに、全国の支社で認定や受賞したものが一覧できるのでしょいかいします。地域によって取得数が違うなどばらつきがある。会社の情報、社員の人数、申請に当たっての情報が必要とあれば本社から提供するというのがバックアップの一つにあります。

各地域で受賞しているもの

地域ごとに、ダイバーシティ&インクルージョン、健康経営に関する認定や受賞を受けています。

北海道	札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業
	メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）認証企業
	あおもり働き方改革宣言企業
青森	メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）認証企業
	あおもり働き方改革宣言企業
	あおもりイクボス宣言企業
岩手	いわて女性活躍認定企業 ステップ2
宮城	「女性のチカラを活かす企業」ゴールド認証企業
山形	やまがたスマイル企業認定（最上位のダイヤモンドスマイル企業獲得）
福島	福島県ワーク・ライフ・バランス先進的取組大賞
	福島県ワーク・ライフ・バランス先進的取組大賞
	福島県次世代育成支援企業「仕事と生活の調和」推進企業認証
茨城	ふくしま女性活躍応援宣言賛同企業登録
	茨城県働き方改革優良企業認定

―御社の活動が良くわかりましたので、今後選定地域に関しても連携をしていただければと思います。続いて小山様からのご意見をお願いします。

<小山様>

私はいま千葉県社労士会船橋支部にいますが、そこでも健康経営が注目され、このたび勉強会が立ち上がった。社労士がより健康経営を理解すれば顧問先にも広がっていく。難しく考えず、社員が健康で企業も健康に、というコンセプトに共感者が増えれば広まっていくのではないかな。そういった地道なところで協力したいと思う。

この健康投資推進協議会のことも機会があれば宣伝したいと思う。

―専門家を巻き込むことについて、岐阜の方でも話が出ています。
では各企業からのご意見を

<高木工業所 高木様>

自分の地域で展開するという視点で考えてみたが、大阪の地域性として、健康経営に関してあまり熱が入っていないというイメージ。行政の認定や支援の窓口があっても、具体的な認定の支援の資金優遇が周知されていない。

弊社としては一定の評価をいただけてはいるが、あまり広がっていない。近いところには個別にHPなどで働きかけもしているが、「一企業が言っている」で終わらないようにするには広く町全体で機運を高めていかないと難しい。

機運を高めるという意味で商工会議所と連携しながら働きかけるのも一手。企業としての取り組み、商工会議所、行政としての支援などの情報を持っていかなければ進みにくいと感じる。

―温度差がある。盛り上がり、巻き込んでいくというスタイルをやっていきたい。
行政に働きかけるにしても、一回お会いしただけで何か変わることもないので、定期的に面談していかないと進まない。

<高木工業所 高木様>

行政との繋がりとは古くからあるので、政策に関しても一定程度声が届く、話ができるルートはあるが、行政としてそれに取り組む意義を理解してもらうためには他（市、府）での成功事例、健康経営は働く人の幸せになることなど資料をまとめておかないと難しい。広めるには町全体で気風を高めるところから。

―九州の和田様はどうでしょうか、昨年シンポジウムでご活躍いただきました。今後、行政とのつながりは。

<トヨタ 和田様>

八代市のシンポジウムは、建設業の方の前で話をさせていただいた形。それで盛り上がったかというところでもないイメージ。市が盛り上がった状態で県に行けばと思うが。自分のところで取り組むのが精いっぱいだった。弊社の取り組みを市の担当者と話す機会を設けたいと思っているが市がそこまで盛り上がっている状況ではない。今年度の新しい取り組みを社長とも話しているのでも是非市の方にも聞いてもらいたいが、実現できていない。何度も話しながら機運を高めていければいい。

――歩踏み込んだスタイル、担当者との地道な面談が必要というところ、高木さんとも共通している。今も活動を継続していると思うので活動の中で出てきた課題がありましたら情報共有をお願いします。

続いては岐阜の方でも大変にご協力を下さっている堀さんいかがでしょうか

<堀様>

岐阜県は西岡さん豊田さんが動いていただきスムーズに進んでいる。

地域、自治体、企業の3つの想いが重なるところに新しい価値が生まれてくると感じている。高木さんがおっしゃったようにスムーズに進んでいるところは良いがなかなかスタートできないところもたくさんある。せっかく全国の人たちが集まった協議会なので、共有しながら、一つ成功事例をまとめるのは大事と感じた。

――私たちはいろんなところで成功事例を持っていることが強み。

最後に鷺尾様ご気づきの点があれば。

<ワシオ商会 鷺尾様>

福島もそうだが、一企業がどう頑張っても行政を動かすのは難しい。このたびは村松先生のご協力もあり、アクサ生命様の内部の方から協議会と協力体制を作り、そこから入っていく試み。東北のトップの人と連絡が取れたので、外部から行政が動かざるを得ない状況を作っていくのが必要だと思う。

――これからも毎月それぞれ進捗を報告していきます。単純な時系列だけでなく具体的な出来事を示せればと思っているので、あらためて「健康投資推進協議会地域戦略事業」を参考にさせていただきご意見ををお願いします。フィードバックをいただきながら協議会として共通に使えるものを作っていきたい。

【ロジックツリーについて】

—高木工業所様、通常のロジックツリーの振り返りや評価シートをいただけたらと思います
す説明シートもお送りしますのでよろしくいたします。

令和7年度 健康投資推進協議会

① HSDロジックツリー活用 WG企業

② 地域事業の拡大に向けて

昨年行った八代・新発田・立川・岐阜で行った地域事業の更なる継続性を模索するとともに、他の地域での地域推進事業の可能性も探る。

➡ **地域モデルの推進**

③ 健康投資の事例性を探る

健康投資 × 多文化共生、健康投資 × 女性活躍、といった共通性のある健康投資 × ○○(テーマ)を見定め、社会/国へより発信できるものにしたい。

➡ **キーワードの事例性選定・強化**

④ パートナリシップ

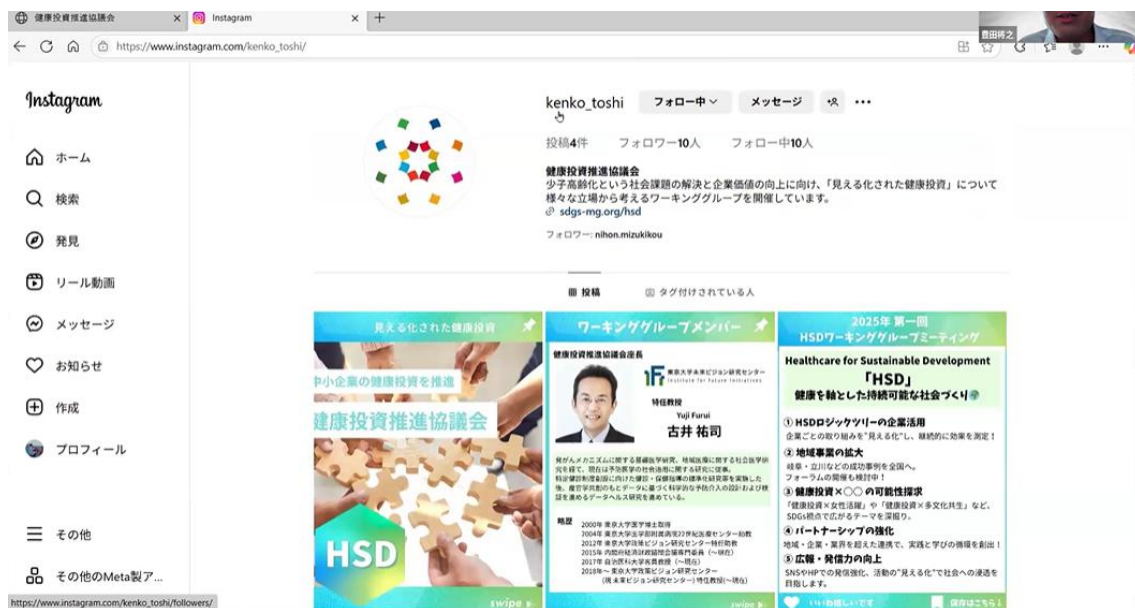
事業をきっかけとして通じたフローの構築（地域・職種・キーワード）

➡ **WGメンバー各エリアにおける講演依頼 / 企業見学による体験型学習の機会**

2) グループ活動からの報告（健康投資推進協議会 広報グループ）

—HP のブラッシュアップ、 SNS（インスタグラム）の新設を行った。
小山さんから広報について発表をお願いいたします。





<小山様>

広報担当を任されていますが 堀さん、鈴木さん、豊田さんに実際に活動して下さっている。基本的には議事録を HP とインスタにアップロードすることで進んでいる。8月4日に MT があるので、それまでに載せたらよいものアイデアありましたらぜひお寄せ下さい。

令和7年度 健康投資推進協議会

- ① HSDロジックツリー活用 WG企業
- ② 地域事業の拡大に向けて
- ③ 健康投資の可能性を探る
- ④ パートナーシップ
- ⑤ 広報戦略

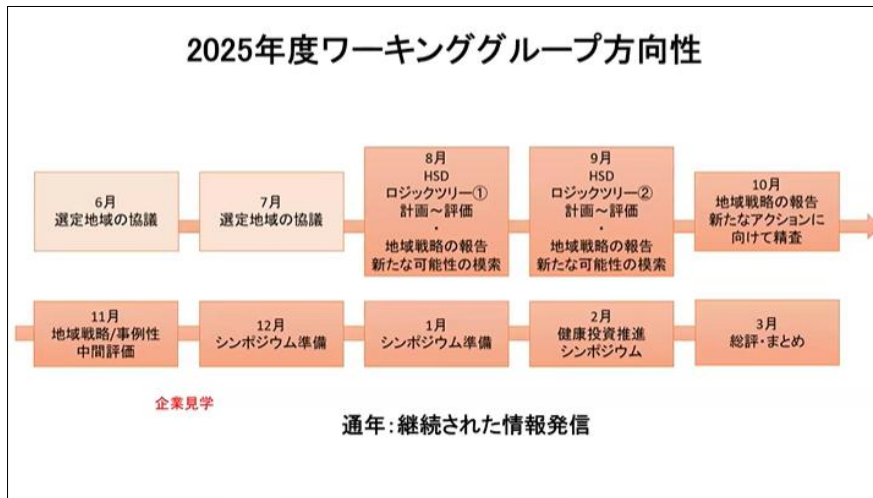
継続した情報発信、健康投資推進協議会の見える化、情報を素早く社会還元

→新たな広報グループによるHP/SNSによる発信

次回 8月4日(月)10:00より第二回ミーティング

【協議会 今後の流れ】

ー6月7月順調に 場所の選定 継続的に動くための種ができたと思っている。8月は多少前後しながら進んでいく。地域をどうするか全国から見、各地で動く双方からできる会議はなかなかない。まずは岐阜福島から進め、他の地域でも関係性実行力を持てるようにしたい。引き続きよろしくお願いします。



V.報告依頼事項

1) 2025年度 健康投資推進協議会 スケジュール

7/10 メールでお送りした WG 次第に変更があります。参加状況をお伺いしてから決めたい
と思います。

~~第3回ワーキンググループ 2025年8月8日(金) 10時00分～11時00分~~

第3回ワーキンググループ 2025年8月22日(金) 10時00分～11時00分

第4回ワーキンググループ 2025年9月12日(金) 10時00分～11時00分

<ヤマヲ 岡部社長>

いろいろご意見有り難うございます。

■ビジョン (Vision)「見える化された健康投資を通じて、社員が生き活きと働く中小企業を日本全国に創出し、地域社会の幸せを創造する。」我々の中長期目標です。今日の議論はまさにそれに当てはまる議論だった。いろんな可能性がいろいろなパートナーシップを組みながらあると思うので各地域で花が咲くようやっていきたい。引き続きよろしくお願いします。

以上